

明治学院大学  
「保証人のための就職ガイダンス」

平成23年6月4日

株式会社パフ  
代表取締役社長 釘崎 清秀



## 演者紹介

株式会社パフ  
代表取締役社長 釘崎 清秀



### 【プロフィール】

- 1960年熊本県生まれ。小学校から高校までを大分県で過ごし、1980年、明治学院大学経済学部入学。
- 大学在学時より日本リクルートセンター(現在の株式会社リクルート)にて就職情報誌の営業を経験。
- その後数社を経て、1995年、国内老舗の求人サイト「登龍門」の運営責任者として立ち上げから参画。
- 1997年「顔の見える就職と採用」を事業コンセプトとした株式会社パフを設立。明治学院大学においてはここ数年、学内企業研究セミナー「職学校」にて司会を務めている。
- 著書『キミは就職できるか?』(彩図社)



## 講演内容

### 1. 「現在の就職と採用の構造」

※当日は詳しいデータをもとに解説しましたが、非公開データのため要点のみ記します。ご了承ください。

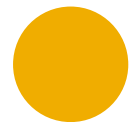
### 2. 「採用する企業側の本音」

### 3. 「就職活動生の親として、

子供に送ってあげたいメッセージ」

### 4. 「就職活動生が親に対して思っていること」

### 5. 「親がしてあげられること、とるべきスタンス」



# 1. 現在の就職と採用の構造

## ○ 企業へのアンケート調査結果より

### 1) 学生の質の低下

企業からみた「学生の質」は例年低下の傾向にある。

特に「従業員5000名以上(つまり大企業)」では、強く質の低下を感じているという数値が出ている。

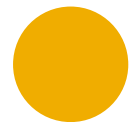
理由は、求めている人物像のハードルが高いこと、早期の学生接触が多いことがあげられる。

### 2) コミュニケーション能力

企業が最も「学生に求めている資質」であり、同時に「学生に最も欠けていると感じている資質」は、「コミュニケーション能力」という結果。求められている能力と、実際の学生の能力とのギャップは大きい。



特に大企業が求める人材はハードルが極めて高い。



## 1. 現在の就職と採用の構造－2

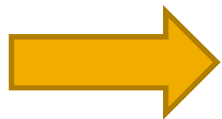
### ○ 企業へのアンケート調査結果より

#### 3) 具体的な採用課題

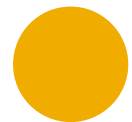
「ターゲット層の選考への誘導方法(つまり、いかに自社に応募してほしい学生たちを選考に呼び込むかということ)」という課題が増加傾向。また、「ターゲット大学の母集団(まとまった応募者の数量)不足」も増加。

#### 4) ターゲット大学の設定

昨年から今年にかけて、ターゲット大学を設定している企業が大きく増加。



多くの企業が、学生に広く応募の門戸を開けていながら、実際には初めからターゲットとなる大学を設定しており、またその傾向は年々加速しているという事実がある。



# 1. 現在の就職と採用の構造－3

## ○ リクルートワークス研究所データ


(出典 <http://www.works-i.com/surveys/adoptiontrend/>)


### 5) 大卒求人倍率、従業員規模別大卒求人倍率

2011年度1.28→2012年度1.23に若干の悪化。「氷河期」と言われた0.99倍(2000年)、1.08倍(1996年)ほどではない。従業員規模別にみると、1000人未満企業は1.86倍、1000人以上企業は0.65倍となり、大企業は狭き門ということになる。

### 6) 高等教育機関への進学率の推移

大学進学率は1994年に30%、2002年に40%、2009年には50%も突破。昔のように高い学力水準がなければ大学に入れない時代ではない。企業が質の低下をあげる一因とも見られる。

 同時に就職活動を始めるライバルの多さ。さらに、全体的に見れば求人はあるのに、求人倍率の高い人気企業のみに応募が集中している。



## 2. 採用する企業側の本音

### ○ 新卒採用のあり方の基本的な問題

#### 1) 大企業 → 学生

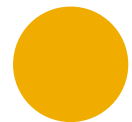
- ・はじめから欲しい学生(のいる大学)はターゲティングしており、ほとんどがそこから採用される。
- ・だが「人気企業ランキング」への影響、商売上の顧客に学生が含まれる場合は会社のイメージアップを図りたいので広く募集。

#### 2) 学生 → 大企業

- ・ほとんどの学生が(ターゲット外にも関わらず)応募する。  
一部の上位校以外は落ち続けることになり、自信やモチベーションを失い疲弊する。
- ・進学へ逃げる、ニートになる、中小企業に仕方なく入社など。

#### 3) 中小企業 ⇔ 学生

- ・大手志向の学生は目が向かない。企業は人数が集まらない。



### 3. 就職活動生の親として、 子供に送ってあげたいメッセージ(1)

#### ○ レンガ積み職人の話

ある小さな町で、通りがかりの旅人が、目の前で働いている3人のレンガ積み職人に質問をしました。

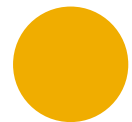
「あなたは何をしているのですか？」

Aの職人：「見ればわかるだろう、レンガを積んでいるんだ」

Bの職人：「ここに大きな教会を建てるのさ」

Cの職人：「俺たちは、歴史に残る偉大な大聖堂を造っているんだ！争いの絶えなかったこの町が、きっと平和になるはずさ！」

同じ仕事でも、その人の心持ちによって「仕事の意味」は変わってくる。



### 3. 就職活動生の親として、 子供に送ってあげたいメッセージ(2)

#### ○ 職業に貴賤なし

どんな仕事でも、自分の仕事に誇りを持っている人は輝いている。  
仕事を貴いものにするも、卑しいものにするも、自分自身の考え次第。  
その人が、一生懸命誰かのために取り組んでいるかどうかなのだと思う。



#### 「職業に貴賤なし」

君が就いた職業が何であったとしても、  
君自身が一生懸命に取り組むことによって、  
その職業を、かけがえのない貴い職業にすることができる。  
しかし、君がひとたび君の職業に一生懸命でなくなったとき、  
君の職業は賤しいものとなっていく。  
いや、その前に君自身が賤しい人間となっていくのである。  
職業に貴賤があるのではない。  
君自身の心に貴賤があるだけだ。  
職学校ではそのことに気づき、貴い心を養ってほしい。

職サークル 運営責任者  
株式会社パフ 代表取締役社長

釘崎 清秀

パフが運営する学生向け就職サイト

■ 職学校Web

「運営責任者からのメッセージ」より

<http://shokugakkou.com>

### 3. 就職活動生の親として、 子供に送ってあげたいメッセージ(3)

- 「はたらく」というコトバの意味

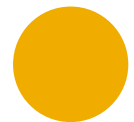
はたらく、とは・・・

ハタ

**傍**(=自分の周りの人たち) を

ラク


**楽**(=楽しく、しあわせに) にすること。



### 3. 就職活動生の親として、 子供に送ってあげたいメッセージ(4)

- キャリアの80%は  
予期しない偶然の出来事によって支配される  
プランド・ハプンスタンス・セオリー(計画された偶然理論)

スタンフォード大学 ジョン・D・クランボルツ教授 が提唱したキャリア論に関する考え方。個人のキャリアの80%は、計画・想定外の偶然の出来事によって形成されているとし、その出来事を素直に受け止め、最大限に活用することで、結果的にステップアップしていくものだ、という考え方。あらかじめキャリアプランを明確にすることは、もちろん無駄ではないが、現代のように常識や価値観、未来展望が急速に変化する時代では計画どおりに行くはずもなく非現実的である。決めたキャリアに縛られるよりも、偶然の出来事を「チャンス」と捉え、積極的に向き合うことで偶然を必然化していく能力が大切であるとしている。



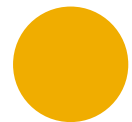
### 3. 就職活動生の親として、 子供に送ってあげたいメッセージ(5)

#### ○ キャリアを成功させるための5つのスタンス

前述の「計画された偶然理論」は、以下の行動特性(スタンス)を持っている人に起こりやすいとされている。

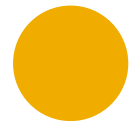
#### 【5つのスタンス】

- ① **好奇心**...新しい学習機会を楽しむ
- ② **持続性**...めげない努力、こだわり
- ③ **楽観性**...きっとできるさ。根拠の無い自信？
- ④ **柔軟性**...変化に強い、オープンマインド
- ⑤ **リスクを取る**...失敗を恐れず動く



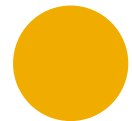
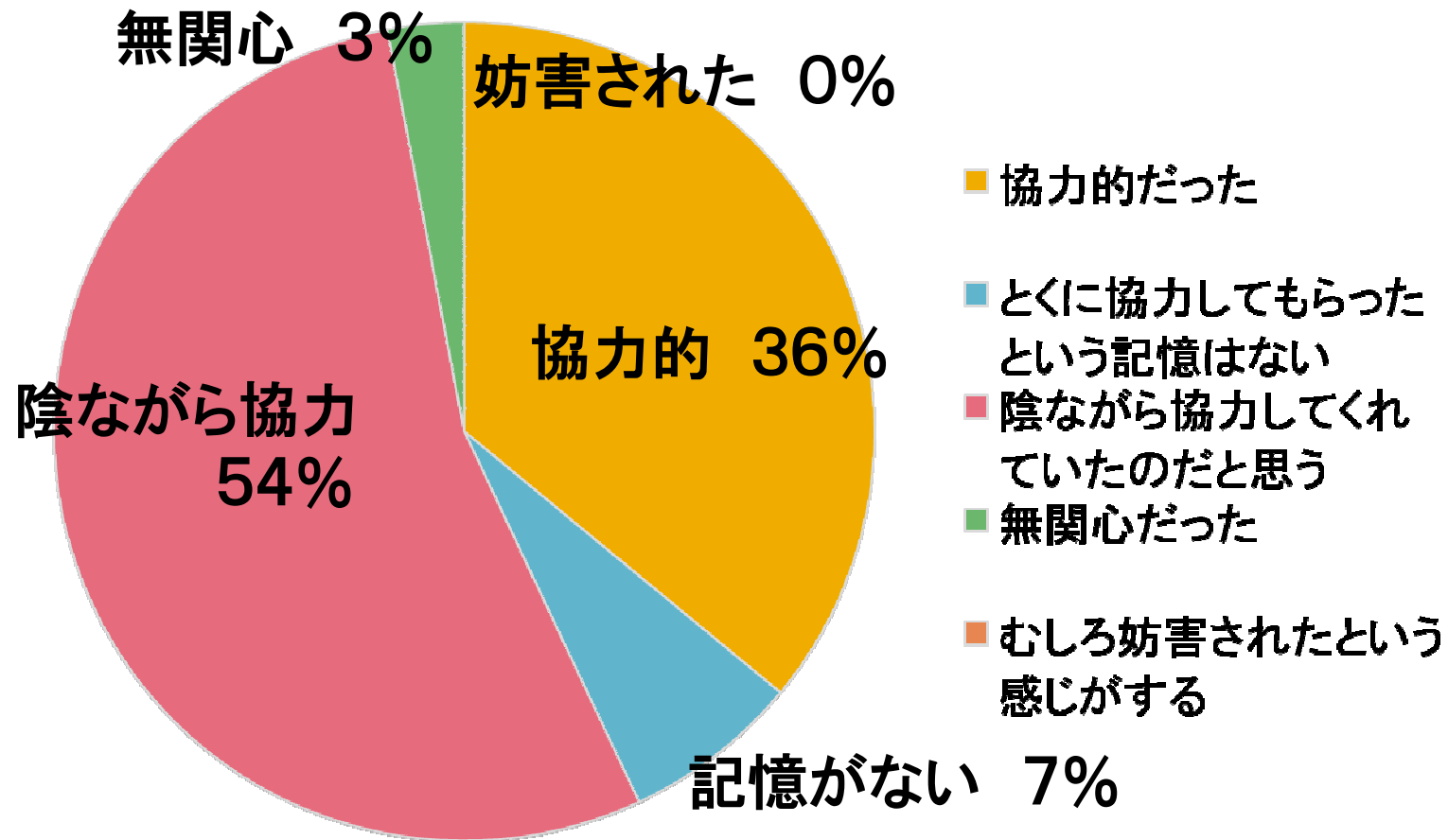
## 4. 就職活動生が親に対して思っていること

- 質問1: あなたの就職活動において、あなたの親は？
- 質問2: その回答にまつわる具体的エピソードや感想をお聞かせください。
- 質問3: 親からかけられた言葉や、されたことで嬉しかったことは何ですか？
- 質問4: 親からかけられた言葉や、されたことで嫌だったことは何ですか？
- 質問5: 親からかけられた言葉や、されたことで役立ったことは何ですか？
- 質問6: 振り返ってみて、  
親には「こうあってほしかった」と思うことは？
- 質問7: 将来、あなたの子供には、  
どのような就職活動をしてほしいですか？



質問1： あなたの就職活動において、  
あなたの親は？

<回 答>



質問2: その回答にまつわる具体的エピソードや感想をお聞かせください。

## 【協力的だった】

### ○ 金銭面

- ・金銭面で協力してもらっていた。
- ・交通費等の援助。

### ○ 精神面

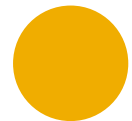
- ・忘れた頃に電話をくれて気遣ってくれた。
- ・困った時に心の支えになるのはやはり親。
- ・会社の選択時は一切押しつけず任せてくれた。



## 【協力的だったー2】

### ○ 相談、アドバイス

- ・両親の就職は40年以上前で昨今の事情はよくわからないと言っていたので、会社や組織のことではなく、第一印象や人物像などについて相談にのってもらった。落ちた話をすると、よく励ましてくれた。
- ・口うるさく言いすぎることもなく、やる気を失っているときでも、軽く話を聞いてくれたり、一社会人としてアドバイスをくれたりした。
- ・深夜に「働くとは？」をテーマに親との相談会。親の働き方や考えを聞かせてもらったこと。



## 【協力的だったー3】

### ○ 日常生活

- ・毎日、朝食から夕食まで用意してくれ、就活に集中できた。
- ・Yシャツのアイロンがけをかかさずしてくれた。
- ・パンプスを磨いていてくれた。
- ・自営業だが手伝いをお願いされることがなくなった。

### ○ 就職活動への具体的協力

- ・エントリーシートの草稿を見せてフィードバックをもらった。
- ・履歴書の添削、面接の練習をしてくれた。
- ・新聞の切り抜きに協力してくれた。
- ・上場企業中心にコネのある会社を紹介してもらった。

## 【特に協力してもらったという記憶はない】

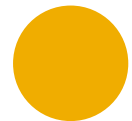
### ○ 就職活動への理解不足

- ・私の家系は教師ばかり。就職活動の経験や知識がなく、理解に欠けていた。活動の中で有名な会社が良いとは限らないとわかったが、“大手”ばかりを気にする親に理解してもらうことができなかった。
- ・両親は最近の新卒事情を一切把握していなかった。落ちたことを報告したくなかったし、口出しされるのも嫌なので相談もしなかった。（内定が出た時はうれしくて真っ先に報告しましたが。）
- ・妨害も協力もなかったが、終始「大手に行きなさい」と言われ、ベンチャー志向だった私と考えが合わず言葉で衝突することしばしば。最後は自分の選択を尊重。

## 【陰ながら協力してくれていたのだと思う】

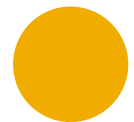
### ○ 干渉しない、見守る、任せる、信頼する

- ・母親には「自分で決めなさい」と特に干渉されることもなく見守ってもらっていた。
- ・父親には「どんな会社を受けているのか」とたまに聞かれ、「働くとは」についてぽつりぽつりと語った記憶がある。
- ・「お前が決めた会社なら間違いない」と言ってくれた。
- ・どこを受けているのかは聞いてくるものの、深入りせず、全て自分自身に任せてくれていた。
- ・愚痴を「うんうん」とひたすら聞いてくれた。「こうしたほうがいい、これはよくない」などを言われたことはなく、今も陰ながら支えてくれているなと感じている。



## 【陰ながら協力してくれていたのだと思うー2】

- ・私が就職活動や就職先について考えていることに対して話を聞いてくれた。叱るでも励ますでもなく、成り行きを見守ってくれた。
- ・いつも就活の愚痴や将来の生き方について話を聞いてくれた。大学の友人に話すこともできなかったので、話を聞いてくれるだけでよかった。



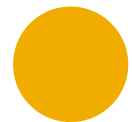
## 【無関心だった】

### ○ 放任主義

無関心だったが、昔から放任主義。私が選択したことにはよほどでない限り反対しない親。就職活動時も「あなたが決めた選択ならいいんじゃない」と一言。内定後も何をしている会社かよくわかっていない。その分、「信じてくれる親を裏切っちゃいけない」という気持ちがある。

### ○ 今の就職活動をわかっていない

基本的に無関心だった。親は自営業、姉の就職は少し特殊だったので、就職活動が今の学生にとってどんなものなのかも、きっとよくわかっていなかったのだと思う。



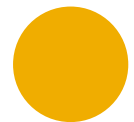
## 【その他】

### ○ 衝突＞ごり押し

妨害も協力もなかったが、終始「大手に行きなさい」と言われ、ベンチャー志向だった私と考えが合わず、言葉で衝突することしばしば。最後は自分の選択を尊重してごり押し。

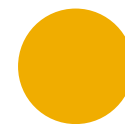
### ○ 衝突＞納得

内定を2つもらい、自分と両親で意見がわかれた。何度も電話で話し合いをする過程が、なぜその企業に行きたいかを整理する機会になった。結果、納得してもらった上で背中を押してくれた。本当に感謝している。



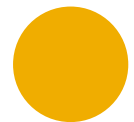
### 質問3: 親からかけられた言葉や、されたことで嬉しかったことは何ですか？

- 母親から「私が何言ったって聞かないし、人のせいにされても嫌だから自分で決めなさい」と言われたこと。信頼されているんだなあというのと、私のことを良くわかっているなあと感じた。
- 第一志望の企業に落ちて、この世が終わったような状態になっていた時、親に電話してワンワン泣いた。その時、何を言うでもなく「悲しいねえ」とひたすら話を聞いてくれた。特に意見はしないけど、話は聞いてくれるという存在が、こんなに有難いものだとは思わなかった。
- 「就職については心配していない」



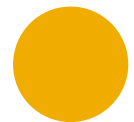
## 【嬉しかったことー2】

- 父は何も言わず黙って見守っていてくれたので、それだけで非常に嬉しかったです。夜遅くに帰宅しても、温かい食事を用意してくれた母にも感謝です。
- 何も意見を言わず、交通費だけ援助してくれたこと。
- 私の意志を尊重し、悩んでいる時には親の意見を聞かせてくれたこと。親だけに限らず、周りの大人(親戚の伯父、叔母、祖父)も実体験と考えを話してくれたこと。
- やりたいようにやれ。と言われました。
- 「時には楽しいことを考えなさい。」



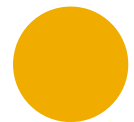
## 【嬉しかったことー3】

- すごく悩んでいたときに、築地にごはんに連れて行ってきて就活の話をするわでもなく食べた。店員さんが話しかけたときに「就活で大変そうだから気分転換につれてきた」ときたとき、泣きそうにうれしかった。
- 理解してもらうことが出来なかったので結局のところ、全ての判断は自分自身で行った。それ故、後悔することなく今に至るので、その点では、決定権を委ねてもらえてよかったと感じる。深入りしてこないこと。これに尽きます。



## 【嬉しかったことー4】

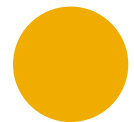
- 「自分が働く会社なんだから自分で決めなさい。自分で決めたことならお母さんはそれでいいよ。」この言葉を言ってもらった時、自分のことを信頼してるからこそ言ってくれたのかな、と思いました。
- 自分が納得できる所が決まったら、しっかり話してねと言われた時。就職活動中にアルバイト先が閉店して、資金不足に陥った時に融資してくれたときは本当に助かりました(あとで返しましたが)
- やり方は好きにやっていいから頑張りなさいと言われた時は嬉しかったです
- 「お金は出してあげるから交通費や食事代、参考書代は惜しまないでね」



## 【嬉しかったことー5】

- 就活していると体力の無い私は実家だとかなりだらしなくなっていたのですが、大目に見守っていてくれてありがたかったです。あと、私に無関心な親父が私の内定先企業を調べていたときは不思議な気持ちでした。
- あまり口を挟まず、静かに見守ってくれたこと。
- 父：人生は後悔したらあかんから、自分が思うように挑戦したらいいで。

母：（志望企業に落ちてがっかりした時） 選考がダメだったのは、単にあなたとその会社が合わなかっただけ。必ずあなたに合う会社があるから信じてがんばって！



## 【嬉しかったことー6】

- 就職活動がうまくいかなかった場合でも、未来が真っ暗になるわけではないことを指摘してくれました。（私は国家資格を取得してから大学院に進学したので、企業の研究職に就けなくても、専門職として勤めることが可能です。選考に落ち続けて辛かった時にその点について指摘し、自分が働きたい会社の選考に集中して臨もうという気持ちにさせてくれました。
- そこまで志望していない企業から内定を頂いたときに父が「おめでとう」と小さい声で言ってくれたのが心に染みた。



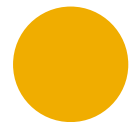
## 【嬉しかったことー7】

- 長い間生きてきた中で培ってきた人生観や、仕事観についての話をされたことがあった。とても新鮮だったし、勉強になった。自分なりに噛み砕いて、就職活動だけでなく、その他の人生においても役に立てようと感じ、実際に役に立ったと思う。とくに、長い間落ち続けていたときなどには心の支えの一つとなった。
- 父から、「何故就活をするのか」という問いかけを受け、就活の先を考えることの大切さを学んだ。シャツのアイロンなど身だしなみについてや、電話など社会人マナーに関するアドバイスをもらえたこと。



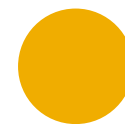
## 【嬉しかったことー8】

- 内定をもらい、おめでとうと言われたこと。自分がその企業で働きたい理由がしっかりあるなら、反対はしない。今しか悩めないから悩み抜いて、選びなさいと言われたこと。実家のことは、最低限でいいから、自分の将来を大切にしなさいと言われたこと。



#### 質問4： 親からかけられた言葉や、されたことで嫌だったことは何ですか？

- 特になし。私が5月であっさり就職活動を終了したので、「えっ？もう終わったの？よかったね」という感じだった。ただし、決めた会社は当初かなり怪しまれた。そこでとやかく言われていたら、きっと嫌な気分になっていたと思う。
- 特になし。「内定もらってないの？」とも聞いてこなかった。
- 基本的に大手企業こそ優良企業だろうという考え方に偏った応援で、子供より親がミーハーだったことが大変だった。
- 選考過程をいちいち細かく聞くこと。



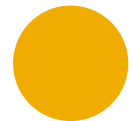
## 【嫌だったこと-2】

- 就活をはじめてから、仕事をお願いされることがなくなると書きましたが、一方で、両親の負担が増えていることは知っていたので、申し訳ないと感じていました。就活と仕事を両立することも可能だったと思うので、気遣ってお願いしないことが逆に嫌でした。大変なときは正直に言ってもらい、可能な限り手伝ってあげたいと思っていました。
- 心配して助言してくれるのは嬉しいけれど、受けている業界の嫌な噂ばかりを話されるとやる気がなくなってしまう。
- 選考を落ちるたびに変に優しくされて気になった



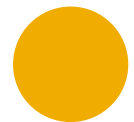
## 【嫌だったことー3】

- マスコミ系も受けていたので3年の12月ごろから就職活動をしていた。それに対して、「早すぎる」「おかしい」などどいった現在の風潮を理解しておらず、批判をされた事。
- 自宅だと集中できないのでほとんど外出してカフェか学校でESとか書いていました。母親が心配してくれるのは有り難いかもしれませんが、詮索されてイヤとしたことはあります。
- 父親から、決めようとしていた進路に頭ごなしに反対をされたこと。
- 「諦めるな」と言われること。休憩することを咎める。



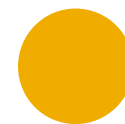
## 【嫌だったことー4】

- 親ではなく、大学院の所在地に暮らしている親戚（祖母・伯父・伯母）から内定をせかされて、「研究職だけでなく営業も受けろ！氷河期なんだから！」「大学院まで行って、くだらない職につくなよ！」「だから大学院なんて止めろって言ったんだ！」と言われた事がショックでした。
- 親に、「なんでそんな会社受けてるの？ 親戚の〇〇さんもキツいって言うてはったから止めとき～！」と言われたこと。



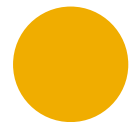
## 質問5： 親からかけられた言葉や、されたことで役立ったことは何ですか？

- 営業職ばかり探していたときに、「女の子は事務仕事がいいと思うよ」と母親言われたこと。今になってそうだなあと思うこともあるし、自分のことをわかっていたんだなあとも思う。
- 「人生プラマイゼロよー」といつも言われている。苦しくても、なんだか希望がもてる言葉。
- 幼いときから親の仕事を手伝っていたので、「働く親の姿」を身近で頻繁に見ることが出来ました。「家族の為に働く」という目的を意識する上で、このことは良い経験だと思います。
- 親戚や親の友人の情報をもらえたこと。



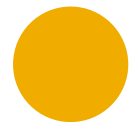
## 【役立ったこと-2】

- 親の紹介で商工会議所の方とお話しする機会がありました。沢山の企業をご存知の方で、色々アドバイスをもらい勉強になりました。台湾留学を決意したのも、これがキッカケだったと思います。
- 父親から「おれは今の仕事に心から満足している」と言われたこと。こんな仕事につけばなと思いました。
- 父の仕事に対する考え、仕事内容を聞くことができたこと。
- 「この会社は業績がいい。受けてみたらどうか？」など。
- 自分と一緒に、自己分析をしてくれたこと。



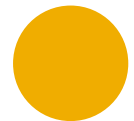
## 【役立ったこと-3】

- エントリーシートについての非常に正直で実りあるフィードバックをくれた。親自身が面接官として新卒採用に協力した経験を話してくれた。
- どのようなところに就職しており、その後の今はどうしているか等の経過を聞くことで、簡単なOG訪問のような情報を得られた。
- 「就活はご縁とか運の要素も大きいから落ち込まないで。自分に合った企業が内定をくれる」
- アイロンがけを欠かさずやってくれたこと。
- 食事とか洗濯とかの家事。経済的にも決して切羽詰まっていなかったのでプレッシャーもまだ軽かったかと。



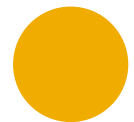
## 【役立ったことー4】

- 「就職活動は結婚の次に、自分の人生の大きな一歩になると思うから、しっかりと考えて決めなさい」と言われてのが印象に残っています。あと、自分自身、大学受験で失敗したなあといった気持ちがあったので、就職活動でも不利なんじゃないかと不安になったりしたのですが、「出身大学なんか一回働き出したら関係ないから、卑屈にならないで前向きに自分らしく働けそうなところを探したらいいよ。会社の大小も関係ないから大丈夫だよ。地方大学の根性を見せなさい。」と言われて、前向きになれました。



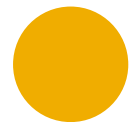
## 【役立ったことー5】

- 合う会社ならなににしても受かるから自信をもってと言われてから面接で自分を出せるようになりました。
- 父の職業人生、背中を見て、感じてきて、自分も、世の中、会社、家族のために働きたいと心に思っている。
- とにかく、私を追い詰めたり急かしたりせずに、見守っていてくれたことです。発達心理学における「セーフベース(子供などが挑戦をした後に、失敗しても温かく迎えてくれる環境のこと)」の役割をきちんと果たしてくれました。



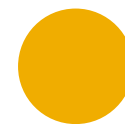
## 【役立ったことー6】

- 「あ～でもない。こ～でもない」と営業の辛さを教えてくれた事
- 交通費を支給してくれたり、ご飯を作ってくれたこと。
- 時事問題について。就職難であることに対する理解。



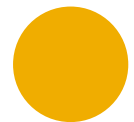
質問6: 振り返ってみて、親には  
「こうあってほしかった」と思うことは？

- 特になし。就職活動だけではなく、自分の親の育て方(自分の育てられ方)にはとても感謝しているので。
- 特にない。満足。
- 「応援してる」「お前ならできる」と言ってほしかった
- 少しでも現在の就職活動について知識をもって欲しかった。就職活動は精神的に辛いときもあるので、暖かく見守っていて欲しかった。
- 干渉されたくなかったなので、そこまで干渉してこなくて良かったです。
- 陰ながら優しく見守っていてほしい。



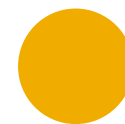
## 【親にはこうあってほしかったー2】

- 父親が保険関連の仕事をしているのですが、業績の伸びがよくないというのをいつも聞かされていたので(斜陽産業だ、というのが父の持論でした)、私もそのせいかいまいち興味を持たずにおわってしまったなと感じています。今考えるともったいなかったなと思うので、先入観を沢山与えて子供の選択肢を狭めないほうがいいのではないかと思います。
- 就活の原動力になるような存在でいてほしかった
- 特になし。よくぞ放っておいてくれました。
- ときにはまじめに進路について話し合う機会があればよかったと思う。



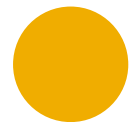
## 【親にはこうあってほしかったー3】

- 自分の意思を尊重して、信頼してくれること。自分ひとりで困った時、心の支えになってくれること。
- 両親の対応は理想的でした。
- 過度の期待をしないこと。



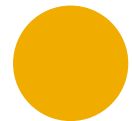
## 質問7: 将来、あなたの子供には、どのような就職活動をしてほしいですか？

- 自分の思う通りに活動してほしい。そして自分が選んだ道なのだから、責任を持てる子に育てたい。
- 就活云々の前に、日本の産業を支える技術を持った人になってほしい。理系に育てたい。
- 自分が懸命に働く姿を見て、子供自身が「仕事」について自分で考えるようになれば良いなと思います。また、子供が疑問に思う時、道に迷った時にいつでも相談に乗れるような雰囲気作りを日頃から作っていきたいです。
- 納得できるまで活動して欲しいです。
- 自分が納得できるよう頑張ってもらいたい！



## 【子供にはこんな就活をしてほしいー2】

- 何年かかってもいいから、「ここなら大丈夫」と胸を張って言える企業に出会うまで、愚直にやってほしいです。
- 就職活動に入る前に仕事の内容やそれに対する想いなど、親をはじめたくさんの大人にインタビューしてほしい。その上で就職活動をするのか、と最初に考えた上で、どうするか決めてほしい。
- 本人が、就職後や社会に希望が持てる就職活動。
- 自分が社会から求められていることを実感して欲しい。たとえ後悔することがあったとしても、その時点ではベストの選択をしたと胸を張って言える活動をして欲しい。



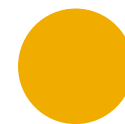
## 【子供にはこんな就活をしてほしいー3】

- 自分の人脈をフル活用してコネまでいかないにしろ生の情報を教えたい。
- とにかくいろんな人に出て話をして欲しい。集団よりはできれば一対一で。
- いろんな業界会社をみてほしい。大手ばかりがいいとはおもわない。(実際いまの会社が中小企業だがとても楽しいから)
- 自分自身でアンテナを高く立てて、面倒がらずに足を運び、時に企業がついてくるウソを見抜ける力を持ち、自分にとって一番の、納得できる会社には行ってほしい。



## 【子供にはこんな就活をしてほしいー4】

- 妥協せず、後悔しない就職活動をして欲しいと思う。自分自身を見つめなおす機会は就職活動をするまで殆どなく、将来について深く考えることもなかった。そのような考えができる数少ない機会だと感じるので有意義な時間を過ごして欲しい。また、大学等で一緒に就職活動をしている友人と頻繁に除法交換をすることや、協力をすることで自身のためにもしてほしいし、その中で友人との関係も深めて欲しいと感じる。
- 自分の思うように就職活動は行なえばいい。ただ就職活動中に会う人(社会人も就活生も)に対して、誠意を持って接するようにしてほしいなと思います。



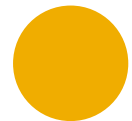
## 【子供にはこんな就活をしてほしいー5】

- 沢山悩んで、いろんな企業に興味を持って、自分が納得してまずここで頑張れると決めることができる企業に出会えるような就職活動。
- どんなに悪いと言われる状態でもその場にある環境に全力で向き合っ欲しい
- 悔いの残らないような道を自分自身の考えで決めてほしいです。
- 自分の可能性を狭めないで社会勉強も兼ねていろんな業種を受けてほしい。
- 人の意見にも素直に耳を傾けながら、一生懸命行動した結果として、自分自身で決断し、進路を決定してほしい。



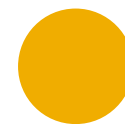
## 【子供にはこんな就活をしてほしいー6】

- 視野を広く持ってほしい。感受性を失わないように。確固たるプライドを持って、それに見合う行動を。願わくば強く優しく、大きな器になってほしいです。帰る場所を用意してやれるようになりたいですね。
- イメージではなく、企業に足を運び、社員と話し、出来れば短期間でも働いてみたうえで決めて欲しい。自分は何であれば、人のために頑張れるのか？喜びを感じられるのか？を考え抜いたうえで、それが出来る会社を選んで欲しい。
- 適性試験や学歴、性別ではなく人物をみて採用活動を行っている企業に就職してほしい。そういった企業が増えてほしい。



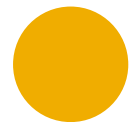
## 【子供にはこんな就活をしてほしいー7】

- 自分の志を持って社会に向かって、色々な人との関わりを通じて、自分自身を磨いてほしいと思います。最終的に、ここだ！と思える人たち(組織)との出会いがあればと思います。
- 自分で考えて、選び、涙が出るくらい苦しんで欲しいです。就職活動を終えてみて、就職活動は自己理解を深めると共に、「精神的ストレスへの自分なりの対処方法を学ぶ」ステップであると感じたからです。
- 理想と現実をしっかりと見極めて、自分の将来を大切にしながら就職活動をしてほしいです。



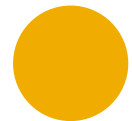
## 【子供にはこんな就活をしてほしいー8】

- 自分のやりたいことを突き詰め、悩みぬいてほしい。しかし、就職活動を中心にすえた生活は、できる限り短時間で終わらせて、より学業や大学生活に専念してほしい。
- 多くの情報が飛び回っている就職活動、それに惑わされずに自分の目で見て、感じて、考えて、納得のいく就職活動にしてほしい。自分の選択を中途半端にしないでほしい。



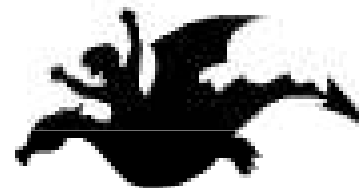
## 5. 親がしてあげられること、とるべきスタンス

- 子供だと思っけていても、もうしっかりした「大人」。考えも価値観も判断軸もきちんと持っている。
- だから自分(親)の価値観を押し付けない。「信頼」が一番の応援。
- 「大手有名企業信仰」を早期に払拭し「入れる企業」を中心に、地に足のついた就職活動を勧めてあげる。
- 交通費の援助や、毎日の食事など、日々の生活の中でできる範囲のことをしてあげてほしい。
- ストレス、つらいことも多い就職活動。時には黙って話を聞いてあげるだけでもよい。
- 企業で働く先輩として、「働くとは」や、自分の職業観、今までの経験を語ったり、社会人としての常識、マナーなどを教えたりということはとても大切。
- コネが通用する時代ではない。しかし、社会のリアルを知る機会を与える意味で、取引先の社会人を紹介するなどして、直接コミュニケーション能力を高める機会を、ぜひ提供してあげてほしい。





ご清聴ありがとうございました。



**株式会社パフ**

■コーポレートサイト

<http://www.puff.co.jp>

■職学校Web(学生向け就職サイト)

<http://shokugakkou.com>

**Puff** Co.,Ltd.  
Like the Magic Dragon

